

おおた文化の森

「森
行に、
こう」

NEW

情報誌Webサイト「おおた文化の森」がリニューアルして新登場です。情報誌とほぼ同じ内容でお送りしますので、お近くに情報誌が無い方でも同じ印象で読んでいただけたと思います。皆様からのご意見などもお待ちしております。こちらまでお寄せ下さい。bunkanomori@nifty.com
また[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)もご覧下さい。

特集

私もあなたも文化の森

～運営協議会は推進する

■ 懇談会の成果

運営協議会が発足して6年目で、後数ヶ月で第2期の委員の任期が終わる。第1期の基礎工事から第2期の骨組み工事が進行中といえる。そろそろ完成した文化の森の活動のイメージをはっきりさせる時期だ。「文化の森の活動を、長いスパンで広く眺め、深く見つめる場」として、昨年、内外の有識者や関係者延べ200人、4回にわたって参集し「文化の森の明日を描く懇談会」が開かれた。

<>内に懇談会の提言を8項目に集約し、項目毎に運営協議会の取り組みを整理すると、

<自分が楽しむ場所>

皆様の希望を直接反映させ実現するために、公募企画の拡大を図っている。

<町内会も学校も企業も行政もまとめる場所>

大田区内は勿論区外の文化事業団体や支援団体との交流を推進している。

<誰でも入りやすい場所>

運営協議会の事務室は入室自由で開放している。運営委員との懇談はもとより、文化プレーヤー間の協議の場になっている。

<人が人を作る場所>

外部の有識者や経験者の助言や参画を歓迎している。たとえば情報誌の「顧問」として招聘してアドバイスと協力をお願いしている。

<文化プレーヤーの集まる場所>

文化プレーヤーと運営協議会との対話を密にするため「文化プレーヤーの集い」(年2回予定)をスタートさせた。

<万事OKの場所>

区民として知っておくべき防災やマンション問題など、地道であっても、避けて通れない日常生活に必須のテーマで講座やセミナーをとりあげた。

<体にあった着物を作る場所>

NPO法人「フォレスト」は活動を本格化する体制を整えた。「運営協議会」は時にライバル、時にパートナーとなって、二人三脚で文化の森活動を活性化する。

<誰でも足の向いてしまう場所>

「たねまき祭」や「収穫祭」は勿論のこと「カラオケ・盆踊り大会」は、いわゆる全館イベントとして定着し、複合的多機能文化施設としての文化の森の役割を果たしている。

■ マンデープロジェクト

現状で満足せず常に進化する文化の森であるために、将来構想部会は今年もアクセルを踏み続ける。「昨年の懇談会の成果のチェックと具体策を設定する。manifestoも作成する」ために、「マンデープロジェクト」を、今年度後半開催する。日程とテーマは、

読み応えのあるコラムが自慢!

大田の顔キマリ

今月は「ヘラ絞り」で世界に挑む株式会社北嶋絞製作所を紹介し、ロケットの部品まで作ってしまっているんですよ。

我に一芸あり

「アラジンもびっくり?! 空飛ぶ車いす」大森学園高校～アジアを駆けめぐる善意の車椅子ってどんな車いすなんだろうね?

運営協議会委員の志

私の、文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は岡崎清吾さんです。

第1回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

魅力あるイベント満載

イベント情報 文化の森側でもあり

楽しいイベントがたくさん! 特に8月～10月はたくさんのイベントで大忙しです。オススメは8/19「ファンタジーの森・スペシャル」

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

イベントの申込み・問合せ

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

9月4日「二人三脚―運営協議会とNPOフォレスト」(両者の相乗効果を発揮する方策を固める)

10月23日「三位一体?運営協議会、実行委員会、文化プレーヤー」(各組織のあり方、役割、機能など練り直す)

12月26日「表裏一体―運営協議会の内と外」(外部団体とのネットワーク作りと全館行事の拡充)

12月26日「総括、3期への期待―捨てるもの残すもの」
となっている。

「F(Free)O(Open)R(Romantic)E(Energetic)S(Spiritual)

T(Trendy)自由で開放的で夢豊かな元気旺盛で活気に溢れた時代に合ったFOREST―文化の森を目指す」という運営協議会に期待したい。

■ 必要な内と外とのコネクション

昨年の「懇談会」の推進役として、文化プレーヤーの河原佳子さんに意気込みを聞くと、「将来構想懇談会には、文化の森の運営を任されている運営協議会だけでなく、文化の森で活動する文化プレーヤーや、企画を一緒にした方々、公募の方々、多方面でお世話になっている方々が参加しました。普段は、個々の関わりで文化の森と繋がっていますが、時には、こうして色々な立場で関わる方が一堂に会して、それぞれの所から見えることを話し合い、文化の森の将来像を描いていくと、文化の森にたくさんの方が関わって、みんなで育てていることを実感できました。懇談会を通じて、文化の森はここで何かできる、という可能性や希望という魅力を発揮しながら、着実に人のネットワークを広げてきていると感じます。文化の森は、施設だけが舞台なのではなく、ここで表現するためには、常に文化の森の内、そして、文化の森の外の方々との関係づくりが大切です」との意見であった。

本年のマンデープロジェクトも、懇談会の成果を十分生かしたい。

(運営委員・将来構想部会長 福野幸雄)

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.20Web版

2006年8月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

おおた文化の森

TOP

＊大田の顔＊ ヘラ

“ものづくりに拘る小さな巨人”

株式会社 北嶋絞製作所 ～「ヘラ絞り」技術で世界を席卷～

大田区京浜島工業団地の一角に北嶋絞製作所がある。

マスコミにも度々取り上げられ、機械工具メーカーのテレビCMにも起用され、2002年4月17日に小泉総理が同社を訪問し、加工の体験もしたという。創業は1947年。「ヘラ絞り」という金属加工で、他に追随を許さない卓越した技能を保有する、従業員わずか19名の企業、「小さな巨人」である。

鍋、フライパンなどの調理器具、照明器具、医療器具をはじめ、現在では、航空機・原子力関連、半導体装置、パラボラアンテナ、国産ロケット「H2-A」先端部など時代の最先端の製品を作るなど、その技術は国内外で高く評価されている。

金型や木型を取り付けた高速回転するろくろに、円形に切り出した金属板を挟み込み、脇に抱える「ヘラ」と呼ばれる金属棒を押し当てると金属板が絞り込まれて変形し、加工されていく。これが同社の看板技術である「ヘラ絞り」である。どんな金属も、ヘラ一本で絞ることができ、複雑な造型を求められる特殊な加工には、手作業で行う「ヘラ絞り」の技術が欠かせない。他品種少量に適した技術である。この技術を習得するには少なくとも10年はかかる。そこには、創業以来一貫して「絞り」部品加工を専門に培ってきた職人の勤と発想と経験の積み重ねから独自のノウハウが生み出されている。まさに熟練した職人のみがなせる手練の技なのである。



ヘラ絞り加工の現場

金属と対話しながら、この世に金属がある限り、この技術に終わりはないと公言し、50年余り一貫して「ヘラ絞り」に挑戦し続けてきた二代目北嶋一甫社長は、金属加工の第一人者として、国内外で名匠として知られている。今後は、「熟練の技能と機械を使った最先端テクノロジーの融合を図って、新しい分野にも挑戦していきたい」と言う。

(文化プレーヤー 宗 正雄)

特集

私もあなたも文化の森

～運営協議会は推進する

読み応えのあるコラムが自慢!



「アラジンもびっくり?! 空飛ぶ車いす」大森学園高校～アジアを駆けめぐる善意の車椅子ってどんな車いすなんだろうね?

運営協議会委員の志

「私の、文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は岡崎清吾さんです。

第1回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

魅力あるイベント満載

イベント情報 文化の森 側でもあり

楽しいイベントがたくさん! 特に8月～10月はたくさんのイベントで大忙しです。オススメは8/19「ファンタジーの森スペシャル」

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

イベントの申込み・問合せ

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.20Web版

2006年8月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

おおた文化の森

TOP

我に一芸あり

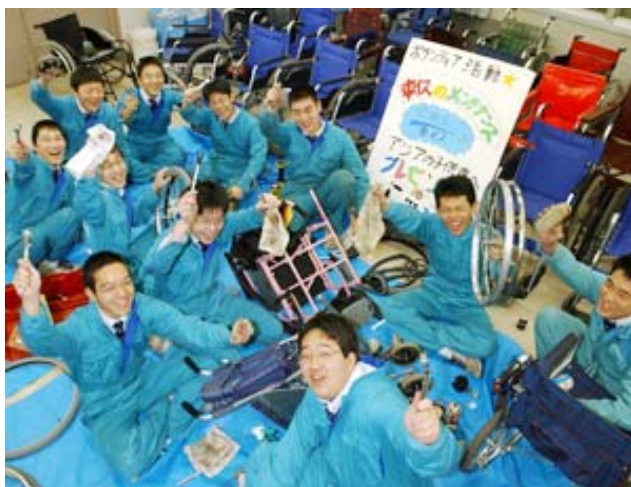
“ものづくりに拘る小さな巨人”

株式会社 北嶋紋製作所 ～「ヘラ絞り」技術で世界を席巻～

「空飛ぶ車いす」とは、使用されなくなった車いすを、工業高校生などが学んだ技術を活かして整備・再生し、アジア諸国で必要としている人々にプレゼントするボランティア活動である。

修理ボランティア校は21都道府県・55校を数え、その中の1校が、今回紹介する「大森学園高校」なのだ。

では何故、大森学園高校がエントリーしているのか？きっかけは、「特別養護老人ホーム」である。1997年に東京都のボランティア推進協力校に選定された同校は、“何かボランティアをしよう！でも何を？・・・”で取り上げたものが「車いす」だった。同校の生徒が怪我をして通院した際、目についたのだと言う。車いすの修理なら、専門知識&技術を習得した生徒達にとってはお手の物。早速、大田区の特別養護老人



「自分の力でできること」地道に背伸びせずに・・・

ホームへ、アポなしで飛び込んだ。老人ホームでは“介護者”は沢山いるが、車いすを修理出来る人がいない。需要と供給の一致で交流がスタートした。生徒達が老人ホームに出向き、車いすのメンテナンスをするのだ。そして、その車いすの修理が、日本社会福祉弘済会が主催する「アジアに車いすを贈る運動」へと結びついていくのである。国内では毎年3万台もの車いすが捨てられていると聞く。1台数万円もする、まだまだ使える車いすが、スクラップになる運命の車いすを、埃や油にまみれて修理再生し、海外に届ける。生徒たちの心と技術の結晶が、ボランティアで運ぶ旅行者の手を経て、空路アジア各地に届けられるのだ。「車いすボランティア」を通じ、地域やアジアの人々との交流を深めている大森学園高校の生徒たち。学校も“地域の人々が生徒を育てている”と言う実感を捉え、しっかりとサポートしている。まさにこれが、地域と一体になっての教育なのだろう。そしてこれこそ、大森学園高校の“一芸”であろう。

(運営委員 山本直子)

特集

私もあなたも文化の森

～運営協議会は推進する

読み応えのあるコラムが自慢!

大田の顔キマリ

今月は「ヘラ絞り」で世界に挑む株式会社北嶋紋製作所を紹介し、ロケットの部品まで作ってしまっているんですよ。

運営協議会委員の志

「私の、文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は岡崎清吾さんです。

第1回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

魅力あるイベント満載

イベント情報 文化の森 側でもあり

楽しいイベントがたくさん！特に8月～10月はたくさんのイベントで大忙しです。オススメは8/19「ファンタジーの森スペシャル」

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

イベントの申込み・問合せ

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.20Web版

2006年8月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

岡崎清吾

●なぜ委員になったか

第1期のY氏の推薦で、平成16年4月1日に大田文化の森運営協議会委員として西野区長より委嘱を受けた。これまで小学校音楽専任教諭及びクラウン少女合唱団指揮者として、長期に亘り音楽活動に専念してきたが、これまでの経験を生かし、区民のために役立ちたい意欲に駆られ、13名のメンバーに仲間入りし、そのうち4名が芸術部門(洋楽、邦楽、アート、洋舞)を担当し、各々のプランを擦り合わせ、計画を練った。17年度は?「敬老の日に贈る音楽のつどい」、?「第1回芸術フェスティバル」に決まり、それぞれ取り組んだ。

●成果はあがったか

?の敬老のつどいは各関係機関や区内小中学校及び演奏団体などの協力を得て高評だった。?の芸術フェスティバルは、アート部門は会場が展示コーナーでうまくお客様の期待に対応でき成果をあげることができたが、ホールで開催の「パレエ」「合唱組曲」「邦楽」「古典芸能」などは、ステージの切り替えが難しく、何とか割り当て時間に進行できたものの、四苦八苦の様相を呈し、せっかくの催し物が功を奏せず、「くるみ割り人形」や「11匹のねこ」などの他は観客動員に問題を残した。

●今後何をを目指すか

私は、大田区民として、これまでの伝統文化を守り住み良く健康で明るい町作りに微力を捧げたいと思っている。大田文化の森も、発足5年目を迎え、人口65万人都市という大都市に見合った市民参加の仕組みや、直接事業並びに公募事業を軌道に乗せ、4階に足を運ぶ文化プレーヤーや各プロジェクトチームの方々と力を合わせ、大田文化の森運営協議会ならではの活発な活動と前進を図り、若き頃に作曲した『大田っ子の歌』に続いて『大田文化の森ときめき音頭』でもつくり、唄いたい心境である。

特集

私もあなたも文化の森

～運営協議会は推進する

読み応えのあるコラムが自慢!

大田の顔キマリ

今月は「ヘラ絞り」で世界に挑む株式会社北嶋絞製作所を紹介しします。ロケットの部品まで作ってしまっているんですよ。

我に一芸あり

「アザジもびっくり?! 空飛ぶ車いす」大森学園高校～アジアを駆けめぐる善意の車椅子ってどんな車いすなんだろう?

第1回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

魅力あるイベント満載

イベント情報 文化の森 徧でもあり

楽しいイベントがたくさん!特に8月～10月はたくさんのイベントで大忙しです。オススメは8/19「ファンタジーの森・スペシャル」

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

イベントの申込み・問合せ

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントの子ケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

2006年8月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

おおた文化の森

第1回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部の有識者の方に、文化の森の活動に対するコメントや期待を述べていただきます。

IT時代の文化の森

“文化”と言う文字からイメージすると文化鍋や文化包丁に代表されるような他とは一寸進んだ新しいもの、文化遺産という古い歴史のある人類の作品と見られます。生活に物的余裕ができると文化的活動に目が向けられるのかと思います。

私たちの周りを見回すと種々の趣味の会やサークルがあり夫々活動しておりますがそのほとんどは限られた範囲の中での活動で、何処にどのようなグループがあるのだろうか、意外と知ることができません。若者たちはインターネットを通じて

情報収集する手段が使われていますが、高齢者ともなるとパソコンの使用もままならず情報量も少ないのが実情です。

こんな課題解決の場として文化の森が活躍できれば、そして各地にある文化センターのリーダー役ができればと思っています。

(地域情報誌編集長 小原洪一)

“文化の森は見えない・・・”か？

“文化の森は見えない・・・”。懇談会に出席のたびに、そう発言してきた。知名度は高いけれど、認知度が低く、実態が見えない・・・と。

私はバス停で四つ程の距離に住み、地域社会への参加も中ぐらい、文化の森でおこなわれているイベントのすべては知らないが、中ぐらいの関心は持っていた。しかし、これまで私の文化の森への参加、関わりあいの程度は少なく中以下で、なぜか“距離感”があった。

こんど、情報誌がリニューアルされると聞いた。願わくは、区民と文化の森との“距離感”をうずめ、無くすメディアであって欲しい。

(シニアライフアドバイザー 岡田久男)

特集

私もあなたも文化の森

～運営協議会は推進する

読み応えのあるコラムが自慢!

大田の顔 キラリ

今月は「ヘラ絞り」で世界に挑む株式会社北嶋絞製作所を紹介し、ロケットの部品まで作ってしまっているんですよ。

我に一芸あり

「アザジもびっくり?! 空飛ぶ車いす」大森学園高校～アジアを駆けめぐる善意の車椅子ってどんな車いすなんだろう?

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は岡崎清吾さんです。

魅力あるイベント満載

イベント情報 文化の森 徧でもあり

楽しいイベントがたくさん! 特に8月～10月はたくさんのイベントで大忙しです。オススメは8/19「ファンタジーの森・スペシャル」

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

イベントの申込み・問合せ

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントの子チケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

おおた文化の森

TOP

文化の森 イベント情報 何でもあり

楽しいイベントがたくさん！特に8月～10月はたくさんのイベントで大忙しです。
オススメは8/19「ファンタジーの森・スペシャル」

楽しいイベントが一杯！ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■カラオケ・盆踊り大会

広場での盆踊りや屋台、ホールでのカラオケ大会など、ご家族みんなで楽しめます。また、お子様向けのワークショップやガーデニングの体験なども開催

□開催日時:8月4日(金)・5日(土)?盆踊り大会18:30～20:30、?カラオケ大会17:30～21:00
□会場:ホール・広場・展示コーナー・集会室等

■8/19は、“ことば”の夢世界！ファンタジーの森・スペシャル

【1部】音読の会の絵本のレストラン。ワンダーアストライアの“お菓子の船”他

【2部】魔法学校スタンプラリーと絵本展示

【3部】朝之助さんの楽しい司会と小咄、詩吟、美しい日本語のための声のジョギング、そして、ファンタ爺さんの物語は「天馬と少年」総集編などなど企画満載！

□開催日時:8月19日(土)13:00～17:00 □会場:5階多目的室 □参加費:無料(当日直接会場へ)

■読み語り「八月の蒼い空」

野坂昭如「戦争童話集」の中から、演劇的要素を取り込んだ読み語りの演出で上演。反戦より平和祈念を忘れることなく伝える

□開催日時:8月25日(金)19:00～21:00・26日(土)14:00～16:00 □会場:大田文化の森ホール □チケット:前売1,600円(中学生以下400円)、当日1,800円(中学生以下500円)、大田文化の森にて発売中

■大田文化の森落語会季節寄席<秋>

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」を開催。出演は、春風亭朝之助他。演目は「蜘蛛駕籠」他1席

□開催日時:9月2日(土)15:00～18:00
□会場:5階多目的室 □チケット:前売500円、当日700円、大田文化の森にて8月1日(火)10:00から発売(未就学児不可)

■0歳からおやこでコンサート

0歳からだれでも、一人でも、家族全員参加できる楽しいヴァイオリンのコンサート

□開催日時:9月3日(日)14:00～ □会場:大田文化の森ホール □チケット:500円、大田文化の森にて発売中(2歳児未満無料、但し、保護者の膝の上)

■トライ！ジョイントコンサート

大田区内で活動中の小さな合唱団を公募で募り、採用された合唱団が主役になって、楽しいミニコンサートを開催

□開催日時:9月10日(日)14:00～16:00
□会場:大田文化の森ホール □チケット:800円、大田文化の森にて発売中

■おじいちゃんおばあちゃんとのふれあいコンサート

区内に住む高齢者と、コンサートや子どもたちとの交流を行い、豊かな人生経験を学び、敬老の心を啓発する催し

□開催日時:10月9日(月・祝)14:00～16:00
□会場:5階多目的室 □定員:抽選で60名(75歳以上) □参加費:500円
□申込:9月10日必着

■オペラレクチャーコンサート「リゴレット」

特集

私もあなたも文化の森

～運営協議会は推進する

読み応えのあるコラムが自慢！



「アラジンもびっくり?! 空飛ぶ車いす」大森学園高校～アジアを駆けめぐる善意の車椅子ってどんな車いすなんだろうね?

運営協議会委員の志

「私の、文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は岡崎清吾さんです。

第1回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

魅力あるイベント満載

文化の森 イベント情報 何でもあり

楽しいイベントがたくさん！特に8月～10月はたくさんのイベントで大忙しです。オススメは8/19「ファンタジーの森・スペシャル」

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

イベントの申込み・問合せ

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.20Web版

2006年8月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄

本格的なオペラを初心者にもわかりやすいようにナレーションを入れ、オペラの鑑賞と楽しみ方を理解してもらうハイライト上演

□開催日時:10月14日(土)19:00～ □会場:大田文化の森ホール □チケット:3,000円、大田文化の森にて8月14日10:00から発売(未就学児不可)

■大田区の歴史を語る講演とマリンバの演奏

現在活躍中の作家の小関智弘さんに、大田区の庶民の歴史を語ってもらう講演と、池山秀樹さんのマリンバの演奏会

□開催日時:10月15日(日)14:00～ □会場:大田文化の森ホール □チケット:1,000円(13～18歳未満500円)、大田文化の森にて8月14日10:00から発売

■やすらぎの名曲コンサート

懐かしく心いやされる名曲の数々を歌・ヴァイオリン・ピアノで演奏。だれにでも親しんでいただけるコンサート

□開催日時:10月20日(金)14:00～ □会場:大田文化の森ホール □参加費:無料 □申込:10月6日必着(参加人数を明記)

☺親子で楽しく学ぼう！ 子どもと一緒に楽しめるユニークなイベント

■五節句に因んで～着せ綿を作ろう

五節句に因んだシリーズ最終回は、「菊の節句」ともいわれる「重陽の節句」に因んだ着せ綿の習わしを学ぶ

□開催日時:8月21日(月)13:00～16:00 □会場:3階工芸室 □定員:抽選で30名 □参加費:300円 □申込:8月11日必着

■親子で作るアロマクラフト

精油を使って身近なものを作る。?石鹸?ルームコロン?入浴剤?キャンドル?リップクリーム

□開催日時:9月24日、10月22日、11月26日、12月24日、1月28日(各日)13:30～15:00
□会場:3階工芸室 □定員:抽選で親子(子どもは小学生以上)15組30名 □参加費:1組5,000円(5回分) □申込:9月3日必着

■わくわくこども科学の森～自由電子がみえたなら～

科学の様々な問題について、楽しみながら実験で学ぶシリーズ。1円玉は電気を通す?折り紙は?電気を通すものと通さないものってあるのかな? 実験してみよう!

□開催日時:10月14・21日(土)9:30～11:30 □会場:3階美術室 □定員:抽選で30名(小学校3年生以上) □参加費:無料 □申込:10月4日必着

■ママといっしょにわらべうたからはじめよう

日本の伝承文化の一つであるわらべ歌を歌い遊ぶことから、音楽の基礎だけでなく社会性等も導き出す

□開催日時:10月17・31日、11月14・28日(各火)10:00～11:00 □会場:1階第1音楽スタジオ □定員:抽選で親子9組18名(2歳半から3歳までの子と親) □参加費:1組3,200円 □申込:9月29日必着

📖生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■不安解消! 防犯まちづくりアイデア大集合

まちづくりコーディネーター養成講座第6弾。今年回は防犯をテーマに、防犯のための視点・アイデアを学ぶとともに、ワークショップの組み立て方を学ぶ

□開催日時:9月2・9・16日(各土)15:00～17:00(16日のみ14:00～) □会場:3階第1集会室 □定員:抽選で20名 □参加費:500円 □申込:8月25日必着

■オペラ入門～毎日を心豊かに

オペラの感動と楽しさを味わうための初心者向け講座。?イタリアオペラ?ドイツオペラ?その他の国のオペラ、のさまざまな作品にふれ、楽しみ方を学ぶ

□開催日時:9月6・20日、10月4日(各水)10:00～11:20 □会場:1階第1音楽スタジオ
□定員:抽選で18名 □参加費:1,500円
□申込:8月23日必着

■ハーブを使う家庭料理講習会

ハーブを育て家庭で応用できる料理講習会。ハーブ料理専門家の講師に依頼し、ハーブの知識を深めてもらう

□開催日時:9月24日(日)10:00～14:00
□会場:3階調理室 □定員:抽選で30名(中学生以上) □参加費:1,000円 □申込:9月

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化支援のための中心施設です。大田区政の基本方針「おおたプラン2015」には、以下のように記されています。?文化創造の拠点、?区民による自主運営、?より利用しやすく親しみのもてる施設

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、?任意登録の文化プレーヤーよって実施する「直接企画」と、?区報・情報誌等で公募した区民よって実施する「公募による事業」の2種類があります。管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

- 企画の実施
?文化プレーヤーに登録して実行委員会またはサポートチームに参画する
?“公募による事業”に応募する
- ボランティアとして参画
文化プレーヤーに登録して希望の活動をする



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)
東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先
■大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704

特集

私もあなたも文化の森

～運営協議会は推進する

読み応えのあるコラムが自慢!



「アラジンもびっくり?! 空飛ぶ車いす」大森学園高校
～アジアを駆けめぐる善意の車椅子ってどんな車いす
なんだろう?

運営協議会委員の志

「私の、文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は岡崎清吾さんです。

第1回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

魅力あるイベント満載

イベント情報 文化の森 側でもあり

楽しいイベントがたくさん! 特に8月～10月はたくさんのイベントで大忙しです。オススメは8/19「ファンタジーの森スペシャル」

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

イベントの申込み・問合せ

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.20Web版

2006年8月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります